

# 神戸市看護大学学生における助産師教育に関するニーズ調査

安達久美子, 安積陽子, 岡永真由美, 高田昌代

神戸市看護大学

キーワード：助産師教育, ニーズ, 大学生

## An Investigation of the Needs for Midwifery Education Among Students of the Kobe City College of Nursing

Kumiko ADACHI, Yoko ASAKA, Mayumi OKANAGA, Masayo TAKADA

Kobe City College of Nursing

Key words : midwifery education, needs, college student

### I. はじめに

現在, 助産師教育は, 4 年制大学, 短期大学専攻科 (以下短大専攻科), 養成所等において行われている。1990 年の助産師学校養成所数ならびにその内訳は, 大学 5 校, 短大専攻科 25 校, 養成所 49 校であった (厚生省健康政策局看護課, 1990)。その後, 看護大学の増加により, 同じ設置主体の短大専攻科, 養成所が発展的解消となり, 大学の助産課程として設置されたために短大専攻科, 養成所が減少した。2002 年には, 大学 62 校, 短大専攻科 31 校, 養成所 35 校 (看護問題研究会, 2002) となっており, 短大専攻科, 養成所は今後も減少していくことが予測される。

2002 年, 全国の看護系大学の卒業生数は 4847 人 (看護問題研究会, 2002) であるのに対し, 看護系大学の助産課程の卒業生は 351 人であり (助産師教育検討プロジェクト, 2003), 助産師教育を受けた学生は約 7% である。このことは, 全国 98 校の看護系大学の内の 36 校で助産課程を設置していないこと (看護問題研究会, 2002), 4 年制大学内の助産課程の平均定員数は, 1 校あたり 7~10 名であること (助産師教育制度委員会, 1998) が背景にある。したがって, 在籍した大学に助産課程が設置されていないことや, 助産課程があっても定員により履修できなかったことにより助産師教育を受けることができなかった学生が助産

師教育を受けるためには, 短大専攻科または養成所に入学する必要がある。このような制度的現状の中, 4 年制大学内で助産課程の履修志望者は定員数を上回っているため多くの希望者が履修できないという報告 (助産師教育制度委員会, 1998) や, 1 年課程助産師養成機関の大卒受験者の割合が増加している (全国助産師教育協議会, 2003) ということから, 助産師教育を希望する学生は多いと考えられる。しかしながら, 前述のように短大専攻科, 養成所が減少傾向にあり, 看護系大学卒業生が助産師教育を受けるための門戸が狭くなっていくことが予測される。

神戸市看護大学 (以下本学) では助産師教育は実施されていないため, 助産師教育を希望する本学卒業生は, 短大専攻科または養成所 (以下両者を併せ助産師養成機関) に進学する必要がある。これまで述べたように, 看護系大学卒業生の助産師教育を受ける機会は狭められている現状にあり, 本学における助産師教育の必要性を検討する必要があると考える。そこで, 本学における助産師教育のニーズを明らかにすることを目的に, 本学学生の助産師教育に関するニーズ調査を行った。

### II. 研究方法

1. 調査日 : 平成 15 年 4 月 8 日

2. 調査対象：本学1年生82名・2年生83名・3年生81名・4年生83名・編入3年生40名・編入4年生36名，合計405名を対象とした。既に助産師資格を有する3名の学生は対象から除外した。
3. 調査方法：助産師資格取得および助産師養成機関への進学に関する質問紙を教室において前期カリキュラムガイダンス時に配布し，記入後その場で回収を行った。調査用紙の記入にあたっては，学生の自由意志であること，匿名であること，調査への参加の有無は以後の本学での教育に何ら影響がないことを口頭および書面にて説明を行った。回収にあたっては，回収箱を教室内に設置し，教室退出時に投函できるようにした。また，調査担当教員は学生が「強制」と感じることはないように配慮し，回収箱から離れた場所で待機した。
4. 分析方法：分析には統計パッケージSPSS10.0jを用い，単純集計を行った。

### Ⅲ. 結 果

#### 1. 対象者の背景および回収率

学年別の回収率は，1年生・編入3年生121名(99.2%)，2年生71名(85.5%)，3年生69名(85.2%)，4年生77名(92.8%)，編入4年生34名(94.4%)，合計372名(91.9%)であった。性別は，男性4名，女性368名であった。

#### 2. 助産師資格取得の希望について（表1）

助産師資格をとりたいと思うかについては，「大変そう思う」1年生・編入3年生15名(12.4%)，2年生21名(29.6%)，3年生16名(23.2%)，4年生15名(19.5%)，編入4年生6名(17.7%)，合計73名(19.6%)であった。「そう思う」は1年生・編入3年生50名(41.3%)，2年生32名(45.0%)，3年生32名(46.4%)，4年生29名(37.7%)，編入4年生13名(38.2%)，合計156名(41.9%)であった。「思わない」は1年生・編入3年生33名(27.3%)，2年生7名(9.9%)，3年生8名(11.6%)，4年生22名(28.5%)，編入4年生14名(41.2%)，合計84名(22.6%)であった。「わからない」は1年生・編入3年生23名(19.0%)，2年生11名(15.5%)，3年生13名(18.8%)，4年生11名(14.3%)，編入4年生1名(2.9%)，合計59名(15.9%)であった。

#### 3. 助産師養成機関への進学について（表2）

助産師養成機関への進学を予定しているかについては，「予定している」1年生・編入3年生7名(5.8%)，2年生8名(11.3%)，3年生4名(5.8%)，4年生5名(6.5%)，編入4年生4名(11.8%)，合計28名(7.5%)であった。「検討中」は1年生・編入3年生28名(23.1%)，2年生29名(40.8%)，3年生30名(43.5%)，4年生20名(26.0%)，編入4年生5名(14.7%)，合計112名(30.1%)であった。「予定していない」は1年生・編入3年生71名(58.7%)，2年生25名(35.2%)，3年生24名(34.8%)，4年生47名(61.0%)，編入4年生24名(70.6%)，合計191名(51.3%)であった。

表1. 助産師資格取得希望

	「大変そう思う」	「そう思う」	「思わない」	「わからない」	合計(%)
1年生・編入3年生	15(12.4)	50(41.3)	33(27.3)	23(19.0)	121(100.0)
2年生	21(29.6)	32(45.0)	7(9.9)	11(15.5)	71(100.0)
3年生	16(23.2)	32(46.4)	8(11.6)	13(18.8)	69(100.0)
4年生	15(19.5)	29(37.7)	22(28.5)	11(14.3)	77(100.0)
編入4年生	6(17.7)	13(38.2)	14(41.2)	1(2.9)	34(100.0)
合計	73(19.6)	156(41.9)	84(22.6)	59(15.9)	372(100.0)

\* 数字は人数，( )内は%を示す

「わからない」は1年生・編入3年生15名(12.4%), 2年生9名(12.7%), 3年生11名(15.9%), 4年生5名(6.5%), 編入4年生1名(2.9%), 合計41名(11.0%)であった。

#### 4. 助産師資格取得希望と進学予定 (表3)

助産師資格取得の希望と進学予定の関係についてみると、資格を取得したいと思うかについて「大変そう思う」と回答した学生73名のうち、助産師養成機関への進学を「予定している」26名(35.6%), 「検討中」39名(53.4%), 「予定していない」4名(5.5%), 「わからない」4名(5.5%)であった。「そう思う」と回答した156名のうち、「予定している」2名(1.3%), 「検討中」69名(44.2%), 「予定していない」62名(39.7%), 「わからない」23名(14.7%)であった。

#### 5. 本学に助産師教育があった場合の進学希望について (表4)

本大学に併設された助産師教育(1年コース)があれば進学したいと思うかについては、「大変そう思

う」1年生・編入3年生22名(18.2%), 2年生20名(28.2%), 3年生20名(29.0%), 4年生26名(33.8%), 編入4年生5名(14.7%), 合計93名(25.0%)であった。「そう思う」は1年生・編入3年生40名(33.1%), 2年生35名(49.3%), 3年生33名(47.8%), 4年生22名(28.6%), 編入4年生14名(41.2%), 合計144名(38.7%)であった。「思わない」は1年生・編入3年生20名(16.5%), 2年生4名(5.6%), 3年生4名(5.8%), 4年生8名(10.4%), 編入4年生10名(29.4%), 合計46名(12.4%)であった。「わからない」は1年生・編入3年生39名(32.2%), 2年生12名(16.9%), 3年生12名(17.4%), 4年生21名(27.2%), 編入4年生5名(14.7%), 合計89名(23.9%)であった。

#### 6. 助産師養成機関への進学予定と本学の助産師教育への進学希望 (表5)

助産師養成機関への進学予定と本学に助産師教育(1年コース)があった場合の本学助産師教育への進学希望の関係についてみると、進学を「予定してい

表2. 助産師養成機関への進学予定

	「予定している」	「検討中」	「予定していない」	「わからない」	合計(%)
1年生・編入3年生	7(5.8)	28(23.1)	71(58.7)	15(12.4)	121(100.0)
2年生	8(11.3)	29(40.8)	25(35.2)	9(12.7)	71(100.0)
3年生	4(5.8)	30(43.5)	24(34.8)	11(15.9)	69(100.0)
4年生	5(6.5)	20(26.0)	47(61.0)	5(6.5)	77(100.0)
編入4年生	4(11.8)	5(14.7)	24(70.6)	1(2.9)	34(100.0)
合計	28(7.5)	112(30.1)	191(51.3)	41(11.0)	372(100.0)

\* 数字は人数, ( )内は%を示す

表3. 助産師資格取得希望と進学予定

本学卒業後具体的に助産師学校への進学を予定しているか？						
		「予定している」	「検討中」	「予定していない」	「わからない」	合計(%)
助産師資格を取得	「大変そう思う」	26(35.6)	39(53.4)	4(5.5)	4(5.5)	73(100.0)
したいと思うか？	「そう思う」	2(1.3)	69(44.2)	62(39.7)	23(14.7)	156(100.0)
合計		28(12.2)	108(47.2)	66(28.8)	27(11.8)	229(100.0)

\* 数字は人数, ( )内は%を示す

表4. 本学に併設された助産師教育(1年コース)への進学希望

	「大変そう思う」	「そう思う」	「思わない」	「わからない」	合計(%)
1年生・編入3年生	22(18.2)	40(33.1)	20(16.5)	39(32.2)	121(100.0)
2年生	20(28.2)	35(49.3)	4(5.6)	12(16.9)	71(100.0)
3年生	20(29.0)	33(47.8)	4(5.8)	12(17.4)	69(100.0)
4年生	26(33.8)	22(28.6)	8(10.4)	21(27.2)	77(100.0)
編入4年生	5(14.7)	14(41.2)	10(29.4)	5(14.7)	34(100.0)
合計	93(25.0)	144(38.7)	46(12.4)	89(23.9)	372(100.0)

\* 数字は人数, ( )内は%を示す

表5. 助産師学校進学予定と本学進学希望

本学に併設された助産師教育(1年コース)への進学を希望するか?		「大変そう思う」	「そう思う」	「思わない」	「わからない」	合計(%)
助産師学校	「予定している」	25(89.3)	3(10.7)	—	—	28(100.0)
進学予定	「検討中」	45(40.2)	55(49.1)	1(0.9)	11(9.8)	112(100.0)
	「予定していない」	19(9.9)	60(31.4)	44(23.0)	68(35.6)	191(100.0)
	「わからない」	4(9.8)	26(63.4)	1(2.4)	10(24.4)	41(100.0)
合計		93(25.0)	144(38.7)	46(12.4)	89(23.9)	372(100.0)

\* 数字は人数, ( )内は%を示す

る」と回答した学生28名のうち、本学の助産師教育を希望するかについて「大変そう思う」25名(89.3%),「そう思う」3名(10.7%)であった。「検討中」と回答した112名のうち、「大変そう思う」45名(40.2%),「そう思う」55名(49.1%),「思わない」1名(0.9%),「わからない」11名(9.8%)であった。「予定していない」と回答した学生191名のうち、「大変そう思う」19名(9.9%),「そう思う」60名(31.4%),「思わない」44名(23.0%),「わからない」68名(35.6%)であった。

#### IV. 考 察

##### 1. 助産師資格取得の希望について

約2割の学生が「大変そう思う」と回答していた。「そう思う」と回答した学生を含めると6割以上の学生が助産師資格の取得を希望しており、本学における助産師資格取得希望者が多いことがわかった。学年別にみると2年生、3年生では希望の割合が7

割程度を占め、1年生・編入3年生、4年生、編入4年生では、希望しない学生が2年生・3年生と比較し多かった。このことは、編入生は既に看護師として臨床経験もある学生が多いため、卒業後看護師もしくは保健師として働く希望を持つ学生が多いことが背景にあると考えられる。また、4年生は、具体的に卒業後の進路を考える時期であり、進路が明確化してきているためと思われる。

##### 2. 助産師養成機関への進学について

助産師養成機関への進学予定をみると「予定している」と「検討中」を併せて、各学年ともに3割前後の学生が進学について考えていることがわかった。しかし、助産師資格希望者が6割以上なのに対し、現実的に進学を予定もしくは検討している学生は少なく、希望と現実の進学ということについてはギャップがあることがわかった。前述のように、大学での助産師教育が進み、大学以外の助産師養成機関が減少するなか、大学卒業者の助産師学校への受験は年々

増加傾向にある。「短大専攻科・専門学校助産師養成機関における看護系大学卒業者の入学状況」（全国助産師教育協議会, 2003）によると、全受験者数の中で大卒受験者が1999年には5.1%であったが、2003年には9.7%であり、大卒入学者については、1999年に7.6%であったが、2003年には15.5%と全入学者の1割を超えている。1年課程助産師養成機関入学競争率は5倍を超えている（全国助産師教育協議会, 2003）。大学以外の助産師養成機関が減少傾向にあるなか、助産師資格の取得を希望していても現実に助産師養成機関の受験を考えると進学に至るまでのハードルが高い現実があると推測される。

その反面、助産師資格取得希望について「大変そう思う」と強く希望している学生は、「そう思う」と回答した学生より進学を予定している学生が多いことから、助産師資格取得の希望の強さが具体的に進学をするかどうかに大きく影響していると考えられる。

### 3. 本学に助産師教育があった場合の進学希望について

本学に併設された助産師教育への進学希望については、6割以上の学生が進学をしたいと希望していた。本学に助産師教育が併設された場合の進学希望は、資格取得希望者数とほぼ一致しており、このことは助産師資格取得希望者の多くが、本学に助産師教育があることを希望しているものと考えられる。さらに、進学予定者の全員、進学検討者の9割弱が本学助産師教育への進学を希望しており、また進学を現在予定していない学生の4割も進学したいと考えていることから、学生の本学への助産師教育設置へのニーズは高いものと考えられる。

## V. まとめ

これまでの本学の卒業生の助産師養成機関への進学状況は、平成8年入学の1期生から4期生464名の学部卒業生のうち、1期生5名、2期生6名、3期生11名、4期生8名の30名（6.5%）であり、本調査の結果と併せ本学の学生の助産師教育へのニーズは高いことが明らかになった。今後、看護系大学卒業者が増加するにともない、助産師教育を希望する既卒者も増加することを考えると、大卒者の助産師教育へのニーズ

はますます高くなることが予測される。一方、現状では1年課程助産師養成機関は減少し、大卒者への門戸は狭くなり、助産師教育を望む学生のニーズに対応することが困難になっていくものと考えられる。本学においても助産師教育のあり方について検討をすすめていく必要がある。

## 文献・資料

- 看護問題研究会(2002)：平成14年看護関係統計資料集，日本看護協会出版会
- 厚生省健康政策局看護課(1990)：平成2年看護関係統計資料集，日本看護協会出版会
- 助産師教育検討プロジェクト(2003)：助産師教育のあり方に関する日本看護協会の見解，社団法人日本看護協会
- 助産師教育制度委員会(1998)：看護大学における助産婦教育の現状－助産婦志願者の動向調査を中心に－，全国助産婦教育協議会，平成9年度助産婦教育制度委員会報告
- 全国助産師教育協議会(2003)：短大専攻科・専門学校助産師養成機関における看護系大学卒業者の入学状況－全国助産師教育協議会加盟校調査－，助産師教育の在り方に関する助産師専門職三団体の見解，全国助産師教育協議会・日本助産師会・日本助産学会

（受付：2003.12.1；受理：2004.2.4）